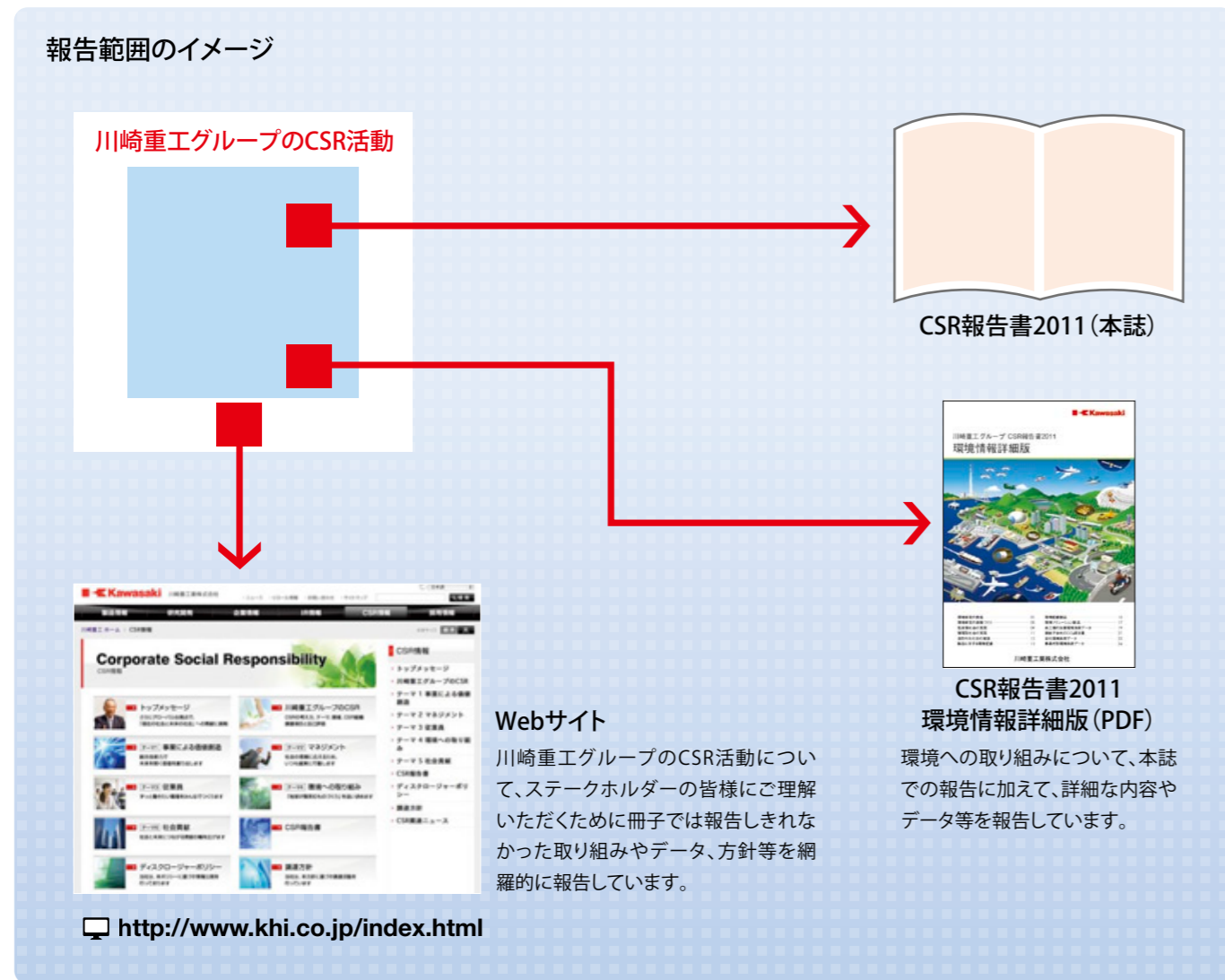


# 全てのステークホルダーの方々に 川崎重工グループのCSRに関する取り組みを ご理解いただける効果的な報告を目指しています。



## 報告範囲

### 対象範囲

川崎重工グループ全体。

### 対象期間

2010年度(2010年4月～2011年3月)。一部2011年度を含む。

### 発行頻度

年度報告書として毎年1回発行する予定。

### 編集・発行元

CSR報告書編集委員会(編集事務局:CSR推進本部CSR部CSR企画課)

### 発行責任者

CSR推進本部長

※本報告書制作にあたっては、環境省の「環境報告ガイドライン(2007年版)」および「GRIガイドライン(2006年版)」を参考にしています。

### 免責事項

本報告書は、当社グループの過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における計画や見通し、経営計画・経営方針に基づいた予測が含まれています。

これら計画・見通し・予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が記述内容とは異なったものとなる可能性があります。

## 編集にあたって

当社グループは、環境ならびに社会活動をお伝えするために、1999年から毎年、「環境報告書」「環境・社会報告書」を発行してきましたが、2010年からは「CSR報告書」にタイトルを改めて発行しています。

2011年度の報告書は、以下の内容を紹介しています。

●全体の構成は、「川崎重工グループのCSR」の5つのテーマ(下記)に沿った報告としています。

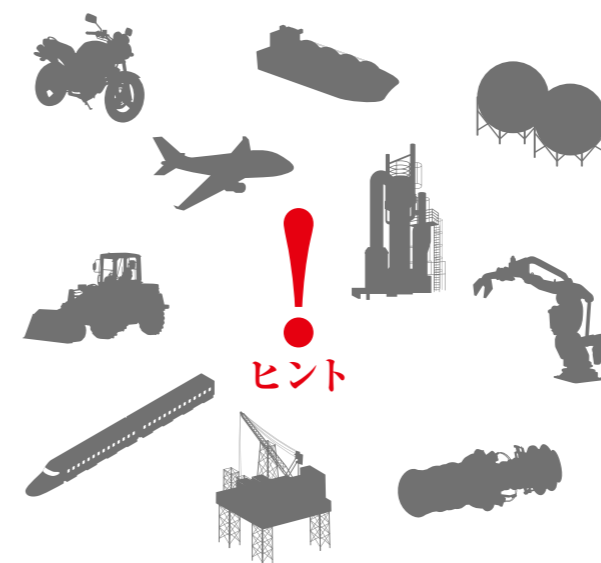
- ① 事業による価値創造
- ② マネジメント
- ③ 従業員
- ④ 環境への取り組み
- ⑤ 社会貢献

●当社グループのCSR活動の報告としては、全社としての「課題項目とアクションプラン」に加え、7つのカンパニーごとに取り組みの重点項目を挙げました。

以下については、今年度新たにご紹介しています。

- ①東日本大震災による当社グループへの影響および対応について報告します。また、被災地の甚大な被害に対峙して、私たちが事業を通じて果たしていくべき役割を考えます。(▶p11)
- ②世界的な課題であるCO<sub>2</sub>の排出削減にどれだけ貢献し得るかを、製品例を挙げて報告します。(▶p13)
- ③中国での合併事業にスポットを当て、事業のグローバル化の中での現地パートナーとの「価値共創」について報告します。(▶p17)

**? 表紙の絵に出てくる川崎重工グループの製品は何があるでしょう?**



**全部で50の製品があるよ 答えはWebサイトで**

## 目次

トップメッセージ	03
川崎重工グループのCSR	05
CSR課題項目と取り組みについて	07
東日本大震災への対応について	11

## 1 テーマ1 事業による価値創造

### 総合技術力で未来をひらく 価値を創り出します

CO <sub>2</sub> 削減に寄与する製品	13
グローバル最高品質を目指して	14
製品安全への取り組み	15
お客様満足度向上への取り組み	16
川崎重工グループと中国パートナーとの価値共創	17

## 2 テーマ2 マネジメント

### 社会の信頼に応えるため、いつも誠実に行動します

企業統治の体制	19
監査の体制と状況	20
コンプライアンス	20
リスク管理/危機管理	21
株主・投資家との関わり	23
お取引先との関わり	24

## 3 テーマ3 従業員

### ずっと働きたい職場を みんなでつくります

「人財」の育成	25
多様性(ダイバーシティ)の尊重	25
活力ある職場風土の実現	26
人権の尊重	26
安心して働くことができる安全な職場	28

## 4 テーマ4 環境への取り組み

### 「地球が微笑むものづくり」を 追い求めます

環境経営の推進	29
2010年度事業活動のマテリアルバランス・環境会計	31
環境経営の基盤づくり	32
持続可能な社会の実現に向けて	33
製品に対する環境配慮	34

## 5 テーマ5 社会貢献

### 社会と未来につながる 貢献の輪を広げます

社会貢献支出状況(2010年度)	35
東日本大震災被災地への支援	35
主な社会貢献活動(2010年度)	36
第三者意見～有識者との対談～	37
会社概要	38